

Granada Si ㊦カスタード(目地入り)

カスタードクリーム風の風合いを連想する意匠の目地仕様。

● 使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ	15kg/缶
プライマースーパーE	
グラナダSi	20kg/缶
目地棒(幅8mm、厚2mm)	

使用器具

計量	秤
下塗り	エアレススプレー等
基層塗り	リシンガン又はコテ
模様塗り	スタッコガン又はコテ
模様付け	コテ

● 標準施工仕様

(23℃、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1~0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダSi	20kg	0.8~1.0	1	-	6以上	リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ
	清水	吹付け塗り 1~2kg コテ塗り 0~0.5kg					
目地割り+ 目地棒貼り	基層が乾燥後、H*W=600*900など、適度な寸法で馬目地又は芋目地の目地割付をする。 次ぎに目地割りに従い、目地棒を貼る。						基準墨は元請に依頼
模様塗り	グラナダSi	20kg	2.5~3.0	1	-		スタッコガン 口径:6~8mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ
	清水	吹付け塗り 0.4~0.6kg コテ塗り 0~0.5kg					
パターン 付け	材料を配り塗り後、コテで表面を当て引きしながら、カスタードクリーム調にパターン付けする。					追っかけ 模様付け	コテ
目地棒撤去 養生撤去	目地棒、養生シートなどの撤去を行う。					直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。					24以上	

● 標準施工要領

1. 下塗り

- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 目地割り・目地棒貼り

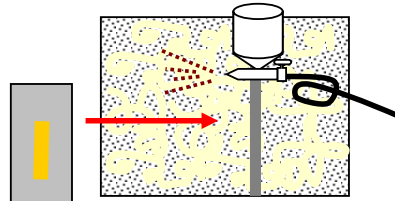
- ①基準墨を確認する。基本として元請に出してもらう。
- ②H*W=600*900など、適度な寸法で馬目地又は芋目地の目地割付をする。
- ③目地割りに従い、目地棒を貼る。

4. 模様塗り

- ①主材は定められた量の清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。
なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を配り塗りする。

5. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗り後、追っかけでコテで行う。
- ②コテで表面を当て引きしながらパターン付けする。
- ③パターンは、壁全体のバランスも考慮してコテで整える。



5. 養生撤去他

- ①目地棒・養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。